

第56回 明治神宮野球大会

試合詳細

立命大7^⑩2明治大

【11月16日(日) 明治神宮球場 試合開始13:47 終了16:53 試合時間 3時間6分】

〔球審〕竹田 〔一塁審〕坂上 〔二塁審〕槇野 〔三塁審〕菅原

勝利投手：有馬

敗戦投手：大川

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	R
立命大	0	0	0	0	1	0	1	0	0	5	7
明治大	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2

<戦評>

立命大がタイブレークまでもつれる熱戦を制し、17年ぶりの準決勝進出を決めた。

立命大は2点を追う5回、西野(3・高知)の左越ソロ本塁打で反撃ののろしを上げる。

7回には、四球と犠打で一死二、三塁とすると有馬(3・愛工大名電)の内野ゴロの間に同点に追いつく。

延長タイブレークとなった10回、無死一、二塁から川本(4・福工大城東)の犠打が相手の失策を誘い、勝ち越しに成功する。好機は続き、一死満塁から川端(3・初芝橋本)の左越適時三塁打で一挙3得点を挙げるなどこの回5点を獲得し、明治大を大きく突き放した。

投げては、5回途中からマウンドに上がった有馬が相手に的を絞らせない投球で追加点を許さなかった。

立命大は、11月18日に決勝進出をかけ、名城大(北陸東海三連盟)と対戦する。

	立命大	明治大
投 手	遠藤、有馬	毛利、菱川、大川
捕 手	西野	小島
本塁打	西野1号ソロ(毛利)	
三塁打	川端	
二塁打		光弘
犠 打	川本2	宮田、田上、木本
併 殺		1
残 塁	6	9
盗 塁	岩間、能美	田上
失 策		大川、岡田
暴 投		
捕 逸		

立命

位置	名前	学年 出身校	打	安	点	振	球
[8]	坂下	(4 立命館慶祥)	4	1	0	1	1
[6]	川端	(3 初芝橋本)	4	1	3	1	1
[7]	岩間	(3 立命館宇治)	5	1	0	1	0
R7	能美	(3 金沢)	0	0	0	0	0
[9]	星野	(3 立命館宇治)	4	0	0	1	1
[3]	角井	(4 智辯和歌山)	5	0	0	4	0
[5]	福井	(3 岐阜第一)	3	0	0	2	1
[2]	西野	(3 高知)	3	1	1	0	1
[4]	川本	(4 福工大城東)	2	0	0	1	0
[1]	遠藤	(4 京都共栄学園)	1	0	0	0	0
1	有馬	(3 愛工大名電)	3	1	1	0	0
	計		34	5	5	11	5

名前	学年 出身校	回	球数	打者	安	振	球責
遠藤	(4 京都共栄学園)	3 1/3	61	16	6	2	0 2
有馬	(3 愛工大名電)	6 2/3	93	23	2	6	1 0
計		10	154	39	8	8	1 2

明治大

位置	名前	学年 出身校	打	安	点	振	球
[4]	岡田	(3 前橋育英)	4	1	0	1	1

[9]	田上	(2 広陵)	4	1	0	1	0
[8]	榊原	(3 報徳学園)	5	0	0	2	0
[2]	小島	(4 東海大相模)	4	0	0	1	0
[6]	光弘	(3 履正社)	4	3	0	0	0
[3]	宮田	(4 横浜)	2	0	0	1	0
H	今井	(4 松商学園)	1	0	0	0	0
3	吉田匠	(2 浦和学院)	0	0	0	0	0
[7]	瀬	(4 天理)	4	2	0	0	0
7	津田	(3 近江)	0	0	0	0	0
[5]	木本	(4 桐蔭学園)	3	1	2	0	0
R	友納	(3 福岡大大濠)	0	0	0	0	0
[1]	毛利	(4 福岡大大濠)	2	0	0	1	0
H	若狭	(3 星稜)	1	0	0	0	0
1	大川	(4 常総学園)	1	0	0	1	0
R	半田	(2 健大高崎)	0	0	0	0	0
	計		35	8	2	8	1

名前	学年 出身校	回	球数	打者	安	振	球	責
毛利	(4 福岡大大濠)	6	106	23	3	7	3	1
菱川	(4 花巻東)	1	21	5	0	0	2	1
大川	(4 常総学園)	3	50	13	2	4	0	1
計		10	177	41	5	11	5	3